

## 福臨技企画 1

「“New Normal” 新たな時代を迎えて～新型コロナウイルス感染下における技師会活動の今後～」

# 新型コロナウイルス感染下における 佐賀県臨床検査技師会の取り組みについて

◎森 隆之<sup>1)</sup>

ハートラボ<sup>1)</sup>

2020年1月、日本国内で初の新型コロナウイルス感染者が確認され、3月には佐賀県でも初の感染者が確認された。2022年6月時点で、佐賀県での感染者総数は55,000人程と九州内では少ないものの、他県と同様に流行の波を繰り返している状況にある。

佐臨技定時総会は感染拡大後、現在までに3回開催している。感染拡大防止のため議案についてはすべて議決権行使による表決とし、参加者は理事・監事・総会役員などに限定し開催規模を縮小した。

学術事業の各部門研修会については2020年9月頃よりオンライン開催に向けた環境を整備し、2020年12月、試験的な目的も兼ね佐臨技主催により初めてのオンライン研修会を開催した。2021年1月には新型コロナウイルス感染症の検査体制や感染対策についてオンライン研修会を開催し情報共有を図った。その後、各部門研修会はすべてオンラインで開催し、2022年6月時点では集合による研修は実施していない。

県学会については、2020年は中止したが、2021年はオンライン形式にて開催した。2022年も同様の形式での開催を予定している。また、同日に、今年度のがん予防啓発事業の公開講演もWEB配信する予定である。

現在、理事会や各種委員会などもオンラインにて開催している。オンラインツールの利用により、移動時間もなく、参加者の負担軽減につながっていると思われる。

佐賀県臨床検査技師会は会員数330名ほどと全国の中でも会員数の少ない技師会である。新型コロナウイルス感染症の発生以前より会員数確保などが問題としてあがっていた。会員に必要とされる佐臨技を目指し、有意義な情報を提供できるよう各施設の現状把握を目的にアンケートを実施した。また、会員の利便性や情報発信の向上のためにホームページを更新した。現在、紙媒体での配布物見直しなどに取り組んでいる。学会当日はこれらの取り組みやアンケート結果などもご紹介したい。